

平成30年度地方創生推進交付金事業実施結果に対する評価

⑥事業効果の判断基準

ア 本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなどの場合)
 イ 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を7割~8割達成したなどの場合)
 ウ 本事業は地方創生に効果があった(事業開始前よりも改善したなどの場合)
 エ 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合)

⑦外部有識者事業の評価の判断基準

総合戦略のKPI達成に有効であった(⑥ア、イ又はウの場合)
 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない(⑥エの場合)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業内容	③ 実績額 単位:円	④ まち・ひと・しごと創生総合戦略における数値目標(2020年)	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 外部有識者からの評価	
					指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見
1	<p>《日光市単独事業分》</p> <p>【継続】SUKIDESU日光推進事業</p>	<p>【移住者増加に向けた推進組織づくり・きっかけづくり】</p> <p>●SUKIDESU日光体験事業(秘書広報課) 前年度実施したツアー等の実施結果を踏まえ、ツアー内容をきっかけづくり、生活体験、仕事体験と3段階で設定し、「働く場所」や「住む場所」として日光の魅力を感じるツアーを実施した。</p> <p>●定住促進事業(移住セミナー、移住イベント参加分)(秘書広報課) 当市への移住促進のため、都内などで移住促進セミナーを開催したほか、移住促進イベントに出展した。</p> <p>【移住関連の拠点づくり、情報のワンストップ化】</p> <p>●定住促進事業(移住ポータル、空家バンク、移住体験の家分)(秘書広報課) 当市への移住促進のため、移住体験の家を活用し、お試し居住の本格的な受入れを行った。また、移住専用ポータルサイトを開設して、移住情報をワンストップ化し、移住情報の発信を行った。</p> <p>【しごとづくりに向けた拠点づくり、体制づくり】</p> <p>●しごとづくり推進事業費(商工課) 空き店舗を活用した起業・創業支援サロンにおいて、アドバイザーによる相談業務、セミナーや座談会等を開催し、地域で起業・創業を目指す者への育成及び支援を図った。</p> <p>【若い世代の定住・転入増加に向けた魅力の発見・創出】</p> <p>●地域まちづくり事業費(地域振興課) 将来に向けた人材育成として、高校生を対象とした「まちづくりアカデミー」を開催した。</p> <p>●若年層に向けたシティプロモーション事業(秘書広報課) 若年層を対象に、自分のまちの魅力を再認識し、考える機会を創出する場を設け、参加者が主体となって市の魅力を発信する冊子を作成し、市内高校に配布した。</p>	13,915,055	<p>基本目標② 地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>○観光入込客数1,160万人 ○転入者増加数500人増</p>	<p>指標① 転出超過の改善(総合政策課) 32 人 平成31年3月</p> <p>指標② ツアー参加者数(秘書広報課) 200 人 平成31年3月</p> <p>指標③ ツアー参加者のうち日光市への移住を意識できた人の割合(秘書広報課) 46 % 平成31年3月</p> <p>指標④ 市外在住者が空き家バンクを利用し、契約に至った件数(秘書広報課) 9 件 平成31年3月</p> <p>指標⑤</p>	<p>△55 (外国人を含んだ実績値28)</p> <p>215</p> <p>39</p> <p>9</p>	<p>地方創生に効果があった</p>	<p>総合戦略のKPI達成に有効であった</p>	—			
2	<p>《日光市単独事業分》</p> <p>【継続】ICTと日光のブランド力を活かした生産・加工・流通・販売の業種間連携による日光産木材需要拡大プロジェクト</p>	<p>【売上げを伸ばすための製品開発・販路確保】</p> <p>●「日光の木」利用総合戦略事業(農林課) 日光市産木材の販路の拡大・宣伝のため、東京圏での出店(ビックサイト等)を行い、ビジネスパートナーの募集を行うなど販路拡大を図った。 東京圏内の主要駅や宿泊施設でのPRや日光杉並木材や森林認証材を使ったコースターなどの商品開発等を通じ、日光市産木材の販売を行った。</p>	2,450,342	<p>基本目標① 安心して働くことができ、安定した生活を支える「しごと」をつくる</p> <p>○市内従業者数39,000人 ○市内事業所数4,600事業所</p>	<p>指標① 製品の売上額(農林課) 1,200 千円 平成31年3月</p> <p>指標② 認証事業体数(農林課) 12 件 平成31年3月</p> <p>指標③ 映像の閲覧件数(農林課) 30,000 件 平成31年3月</p> <p>指標④ 認証材素材生産量(農林課) 11,000 m³ 平成31年3月</p> <p>指標⑤</p>	<p>1,227</p> <p>11</p> <p>23,540</p> <p>26,194</p>	<p>地方創生に相当程度効果があった</p>	<p>総合戦略のKPI達成に有効であった</p>	—			

No	① 交付対象事業の名称	② 事業内容	③ 実績額 単位:円	④ まち・ひと・しごと創生総合戦略における数値目標(2020年)	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 外部有識者からの評価	
					指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見
3	<<日光市単独事業分>> <新規> 農業と他産業を結びつけるハブを中心とした農工商親連携による地域の稼ぐ力・所得向上プロジェクト	【地域の稼ぐ力・所得向上に向けた基礎づくり】 ●農業成長戦略推進事業(農林課) 農工商親連携による農産物の新たな付加価値の創造、販路拡大と開拓による地域の稼ぐ力、所得の向上を図るため、農業と商工業、観光業を結びつけることを目的として、農産物を中心とした需要と供給の情報をワンストップ化したハブシステムを構築した。また、農業を中心とする地域資源の発掘を行い、直売所や農業体験施設などへの誘客促進に向けた周知パンフレットを作成した。 ●しごとづくり推進事業(商工課) 地元の食品関係製造・販売業を中心とした企業の大都市圏の企業に対する販路拡大等に向けた異業種間企業のためのマッチングのためのビジネス商談会を開催した。	7,656,482	基本目標① 安心して働くことができ、安定した生活を支える「しごと」をつくる ○市内従業者数 39,000人 ○市内事業所数 4,600事業所	指標① 市農産物直売所の売上増加(農林課) 70,000 千円 平成31年3月 指標② 産業と他産業を結びつける農工商親連携の核となるハブホームページ閲覧件数(農林課) 2,000 件 平成31年3月 指標③ 異業種間のビジネスマッチング事業への出展企業数(商工課) 2 社 平成31年3月 指標④ 農工商親連携による商品開発数(商工課) 1 件 平成31年3月	26,881	—	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	—		
4	<<広域連携事業分>> ※広域連携事業のためKPIの指標値も県全体の数値 【継続】 ツール・ド・とちぎを核とした地方創生推進事業	【「ツール・ド・とちぎ」実行委員会負担金】 ●まちづくり推進事業費(総合政策課) 県及び県内全ての市町が連携し、スポーツによる地方創生を図ることを目的に県内各地域を縦断する「ツール・ド・とちぎ」を開催した。	350,000	基本目標② 地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる ○観光入込客数 1,160万人 ○転入者増加数 500人増	指標① 公営レンタサイクル利用者数(総合政策課) 58,902 人 平成31年3月 指標② ツール・ド・とちぎ公式HP閲覧回数(総合政策課) 20.4 万回 平成31年3月 指標③ 外国人宿泊数(総合政策課) 250 千人 平成31年3月 指標④ 観光消費額(総合政策課) 5,197 億円 平成31年3月	73,482	21.61	県外国人宿泊数 223 【参考】 日光市における外国人宿泊数 H28 :92千人 H29 102千人 H30: 93千人 H29とH30比較 9千人減少	県観光消費額11億3千万円 【参考】 日光市における観光客宿泊数 H28 :3,316千人 H29 3,441千人 H30 :3,307千人 H29とH30比較 134千人減少	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	—
5	<<広域連携事業分>> ※広域連携事業のためKPIの指標値も県全体の数値 【継続】 観光立県とちぎづくり推進事業	【複数地方公共団体区域をまたぐ地域版DMOの形成促進及び体制強化】 ●観光推進体制整備事業費(観光課) 平成29年度当初に設立された一般社団法人DMOにおいて、継続的かつ「稼ぐ」観光振興の実現のため、「マーケティングデータの収集と分析」、「具体的観光戦略」の検討を行った。 【地域版DMOと連携して行いうんばうの推進、外国人受入体制の強化】 ●観光推進体制整備事業費(観光課) ●インバウンド推進事業費(観光課) ●エコツーリズム推進事業費(観光課) インバウンドの受入体制の強化を図るため、観光事業者を対象とした研修会の実施や外国人向けパンフレット、着地滞在型体験プログラム集の制作を行った。また、外国人誘客に向けたプロモーションを実施した。	8,240,000	基本目標② 地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる ○観光入込客数 1,160万人 ○転入者増加数 500人増	指標① 観光消費額(観光課) 5,197 億円 平成31年3月 指標② 外国人宿泊数(観光課) 250 千人 平成31年3月 指標③ 外国人宿泊数(観光課) 223 千人 平成31年3月 指標④ 観光消費額(観光課) 11億3千万円 平成31年3月	県観光消費額11億3千万円 【参考】 日光市における観光客宿泊数 H28 :3,316千人 H29 3,441千人 H30 :3,307千人 H29とH30比較 134千人減少	県外国人宿泊数 223 【参考】 日光市における外国人宿泊数 H28 :92千人 H29 102千人 H30: 93千人 H29とH30比較 9千人減少	県観光消費額11億3千万円 【参考】 日光市における観光客宿泊数 H28 :3,316千人 H29 3,441千人 H30 :3,307千人 H29とH30比較 134千人減少	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	—	